

公表:令和 2年 4月 1日

事業所名

パブリカ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				活動内容に合わせてスペースを確保している。子ども実態に合わせて工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか		○			基準定員は満たしているが、十分な支援を行うために職員を募集している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○		多様化している児童全てには対応しているとは言えないが、極力児童がパニックを起こさないような配慮をしている。今後もより良い環境作り
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				採光や空気清浄など必要備品も取り入れながら環境を整備している。また個人・集団などの活動に合わせた環境を
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			毎朝のミーティングや児童帰宅後の引き継等から問題解決、業務改善に努めている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者アンケートを実施し、今後の運営に役立てるよう努めている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページにて公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後実施していく予定。
適切な支援の提供	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				積極的に研修に参加し、研修報告を通して全員で共有し実践している。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				送迎時の対話や希望があれば面談等を行い保護者のニーズに合わせて作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				アセスメントツールを利用すると共に保護者から検査結果を頂いている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				アセスメントやニーズを踏まえて適切な計画となるよう努めている。
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				一覧を作成するなど職員が常に把握し、適切な支援ができるよう工夫している。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングや会議等でアイデアを出し合い立案し、紙面化する事でチームで対応し
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間予定表を作成し毎日変化のあるプログラムを設定している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動の機会を設けて計画に沿って実践している。集団活動においても状況に合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、業務時間前にミーティングを行い、役割分担の確認を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了時に引継ぎを行い、その日の支援中において気になったことや子どもの状況、家族等とのやり取りについて共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援計画に沿って支援内容の記録をとり、都度確認、検証、改善できるよう努めている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に評価を行い、支援計画の見直しに努めている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			極力そういった職員が参加しているようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			特別支援学級の先生と送迎時に情報共有等を行っているが、他関係機関とは今後の課題である。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			現段階で、医療的ケアが必要な子供の利用はないが、利用する事がある場合連携を行っていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			現段階で、医療的ケアが必要な子供の利用はないが、利用する事がある場合には体制を整えていく。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の了承を得て必要であれば、支援計画の共有や支援の様子を見て頂き相互理解を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報が共有できるよう準備をしている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			見学や研修を行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			機会としてはプログラムの際には設けていないが、今後プログラム化していきたい。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		地域の子育て会議等へ参加の機会を作っていないため、今後確保できるようにする。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時や連絡ノート等で共通理解を図っている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			保護者とのやりとりの中で必要時、対応策を考え支援している。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				丁寧にわかりやすく説明するように心がけている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				訪問し、直接保護者に説明し同意を得ている。また、来所しての説明と同意もある。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				送迎時や連絡ノートを通して相談を受け、対応している。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者同士のつながりや交流をもてるようにしている。今後その機会が増えるように努める。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談や苦情があった場合には、迅速かつ丁寧に対応するよう心掛け、職員に内容を周知、共有している。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				月間予定表と活動内容の概要をプリントで配布している。また、活動の様子などをホームページで公開している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				個別ファイルを施錠したロッカーにて保管し個人情報の取扱いに関しては注意を徹底
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				障がいの特性に配慮し、視覚化したりなどの配慮をしている。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				内覧会、見学会などを実施し、地域の方に事業所を見てもらっている。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		開所して日が浅いため実施していないが計画、実施していく。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				契約時に健康の記録を記入して頂き、都度確認し支援している。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				事前に確認し、徹底して対応している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				書類を整理しながらまとめている段階であるが、共有ができるよう準備している。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				研修に参加し、その内容をフィードバックする事で適切に対応できるよう努めている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				重要事項説明書に記載し説明はしているが、実際に身体拘束を行った事例はない。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。